



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月14日

上場取引所 東 名

上場会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社

コード番号 2453 URL <http://www.jbr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 榑原 暢宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 鈴木 良夫

TEL 052-883-0850

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	5,541	△0.2	517	3.0	481	4.5	244	△27.8
23年9月期第3四半期	5,554	9.9	502	21.0	460	12.7	339	9.5

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 255百万円 (△21.0%) 23年9月期第3四半期 323百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年9月期第3四半期	3,829.92	—
23年9月期第3四半期	5,036.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年9月期第3四半期	9,580	2,926	29.2	44,011.43
23年9月期	8,957	2,836	31.0	42,429.47

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 2,798百万円 23年9月期 2,775百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年9月期	—	500.00	—	1,000.00	1,500.00
24年9月期	—	500.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	7,867	9.1	525	△17.3	450	△22.7	237	△44.9	3,714.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期3Q	68,858 株	23年9月期	68,858 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

24年9月期3Q	5,264 株	23年9月期	3,443 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	63,910 株	23年9月期3Q	67,343 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は四半期決算短信[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要を背景とする回復傾向が一部に見られたものの、原発事故による懸念が払拭できず、欧州の政府債務危機による信用収縮、円高の長期化や不安定な雇用情勢等、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける」という経営理念に基づき、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでおり、平成24年5月より新たな集客手段として試験的にマグネット広告の各戸配布も開始しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は5,541,233千円（前年同期比0.2%減）、営業利益は517,892千円（前年同期比3.0%増）となり、自動車賃貸事業における大口賃貸先の契約違反に伴う解約により売却した賃貸車両に係る未収入金の回収不能見込額を貸倒引当金繰入額として営業外費用に計上しておりますが、違約金収入を営業外収益に計上したため、経常利益は481,029千円（前年同期比4.5%増）となり、四半期純利益は244,770千円（前年同期比27.8%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における作業件数はガラス関連サービス17千件、水まわり関連サービス35千件、カギの交換関連サービス48千件です。生活会員（ライフデポ会員を除く）は新規入会会員202千人、継続会員22千人、合計225千人です。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

① コールセンター事業

コールセンター事業におきましては、競合企業のWeb広告の攻勢等によって入電件数が低下したことにより、カギ、パソコン等では受注件数も若干減少したため、コールセンター事業全体の売上高は前年同期を下回りましたが、全般的な成約率は向上しており、リフォーム、家電修理等の売上高は順調に伸びております。

当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、カギ部門（自動車、バイクのカギを含む）の売上高が324,030千円（前年同期比9.2%減）、パソコン部門の売上高が64,123千円（前年同期比13.4%減）となりましたが、リフォームの売上高が35,375千円（前年同期比13.9%増）となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、486,536千円（前年同期比8.1%減）となり、集客のための広告宣伝活動を積極的に展開したことにより、営業利益は120,630千円（前年同期比39.9%減）となりました。

② 会員事業

会員事業におきましては、賃貸住宅入居者向け「安心入居サポート」会員が、提携企業の販売拡大により、引き続き順調に伸長しております。

当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、「安心入居サポート」会員の売上高が1,109,767千円（前年同期比29.7%増）、「学生110番」会員の売上高が102,633千円（前年同期比24.9%増）、「ライフサポートパック」会員等の売上高が401,220千円（前年同期比9.5%減）となりました。

なお、平成23年4月1日付けで、会社分割によりバイク関連子会社（バイク会員事業）等の株式を譲渡した結果、前第3四半期連結累計期間に計上しておりましたバイク会員事業の売上高は、当第3四半期連結累計期間には計上ございません。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は、1,730,560千円（前年同期比12.8%減）となりましたが、「安心入居サポート」会員の収益が貢献し、営業利益は499,157千円（前年同期比52.5%増）となりました。

③ 企業提携事業

水の救急車事業におきましては、競争の激化等の影響によって、売上高が微減となりました。

旭硝子ガラスの救急車事業におきましては、住宅エコポイント利用による窓関連リフォーム需要があったものの、競合企業の巻き返しによる緊急割れ換え作業の減少等により、前年同期を下回っております。

コールセンター受託事業では、バイク会員事業の譲渡に連動してバイク関連作業の売上高が減少したため、前年同期の売上高を下回っておりますが、コールセンター受託企業数は引き続き増加し177社となっております。

企業提携事業におきましては、水の救急車事業の売上高が1,269,910千円（前年同期比5.0%減）、旭硝子ガラスの救急車事業の売上高が575,110千円（前年同期比6.7%減）、セコムウィン事業の売上高が63,114千円（前年同期比15.4%減）、コールセンター受託事業の売上高が450,562千円（前年同期比33.5%減）となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は2,358,697千円（前年同期比12.8%減）となり、集客のための広告宣伝活動を積極的に展開したことにより、営業利益は139,439千円（前年同期比55.0%減）となりました。

④ 加盟店事業

加盟店事業におきましては、Web広告の拡充に伴い、タウンページ広告の出稿量を圧縮したことにより、プロモーション業務による加盟店への売上高が、92,057千円（前年同期比29.7%減）となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は125,832千円（前年同期比22.7%減）となりましたが、タウンページ広告の出稿量を圧縮したことにより、営業損失は217,624千円（前年同期は営業損失293,378千円）となりました。

なお、加盟店数は426拠点、協力店数は999拠点となっております。

⑤ 少額短期保険事業

少額短期保険事業におきましては、賃貸住宅の家財を補償する「新すまいRoom保険」が順調に伸びていることにより、当第3四半期連結累計期間における当事業の売上高は854,120千円（前年同期比54.9%増）となり、営業利益は152,551千円（前年同期比9.6%減）となりました。

⑥ 自動車賃貸事業

自動車賃貸事業におきましては、当第3四半期連結累計期間における売上高は172,069千円（前年同期比22.8%増）となり、営業利益は13,509千円（前年同期比80.4%増）となりました。

⑦ その他の事業

その他の事業におきましては、平成24年3月31日に、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモが提供する携帯電話の第2世代通信サービス「DoPaサービス」が終了したことに伴い「シンプルセキュリティ」のサービス提供を終了いたしました。当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は1,366千円（前年同期比49.7%減）となり、営業損失は210千円（前年同期は営業損失98千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ1,226,644千円増加し、7,803,552千円となりました。これらは主に、現金及び預金が721,800千円、未収入金が369,521千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ564,472千円減少し、1,562,750千円となりました。これらは主に、有形固定資産が496,468千円、賃貸用固定資産が99,007千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ474,079千円増加し、3,996,850千円となりました。これは主に、未払法人税等が248,775千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が623,799千円、買掛金が104,068千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ59,288千円増加し、2,657,491千円となりました。これは主に、長期借入金が81,443千円減少したものの、長期前受収益が177,062千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ89,530千円増加し、2,926,340千円となりました。これは主に、利益剰余金が146,921千円、自己株式が135,335千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、平成23年11月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,522,767	6,244,567
売掛金	513,284	528,401
有価証券	100,148	100,000
商品	31,593	95,969
その他	414,950	901,771
貸倒引当金	△5,835	△67,156
流動資産合計	6,576,908	7,803,552
固定資産		
有形固定資産	695,604	199,136
無形固定資産		
のれん	7,694	25,866
その他	198,003	191,551
無形固定資産合計	205,697	217,418
投資その他の資産		
投資有価証券	673,000	689,851
その他	594,997	498,164
貸倒引当金	△42,076	△41,820
投資その他の資産合計	1,225,920	1,146,195
固定資産合計	2,127,222	1,562,750
繰延資産	253,651	214,378
資産合計	8,957,782	9,580,682
負債の部		
流動負債		
買掛金	252,561	356,630
短期借入金	1,000,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,096,538	1,720,337
未払法人税等	369,610	120,835
賞与引当金	13,308	3,827
会員引当金	100,092	130,415
支払備金	6,609	9,140
責任準備金	159,260	189,133
その他	524,791	566,529
流動負債合計	3,522,771	3,996,850
固定負債		
長期借入金	2,049,917	1,968,474
その他	548,285	689,017
固定負債合計	2,598,202	2,657,491
負債合計	6,120,973	6,654,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	756,860	756,860
資本剰余金	824,405	824,405
利益剰余金	1,450,655	1,597,576
自己株式	△252,766	△388,101
株主資本合計	2,779,155	2,790,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,631	8,121
その他の包括利益累計額合計	△3,631	8,121
少数株主持分	61,286	127,478
純資産合計	2,836,809	2,926,340
負債純資産合計	8,957,782	9,580,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,554,926	5,541,233
売上原価	2,931,158	3,045,179
売上総利益	2,623,768	2,496,053
販売費及び一般管理費	2,120,912	1,978,161
営業利益	502,855	517,892
営業外収益		
受取利息	1,726	2,429
受取配当金	720	1,266
受取賃貸料	15,156	14,045
違約金収入	—	75,087
持分法による投資利益	—	4,426
その他	19,761	10,764
営業外収益合計	37,364	108,020
営業外費用		
支払利息	18,157	20,901
貸倒引当金繰入額	—	61,921
持分法による投資損失	7,031	—
保険業法第113条繰延資産償却費	51,735	60,950
その他	3,184	1,108
営業外費用合計	80,108	144,883
経常利益	460,111	481,029
特別利益		
固定資産売却益	120	7,579
投資有価証券売却益	24,202	10,612
子会社株式売却益	363,643	—
貸倒引当金戻入額	827	—
特別利益合計	388,793	18,192
特別損失		
投資有価証券評価損	16,852	—
貸倒引当金繰入額	40,809	—
その他	16,292	—
特別損失合計	73,954	—
税金等調整前四半期純利益	774,950	499,222
法人税、住民税及び事業税	443,131	200,222
法人税等調整額	△254	55,121
法人税等合計	442,877	255,344
少数株主損益調整前四半期純利益	332,073	243,878
少数株主損失(△)	△7,124	△891
四半期純利益	339,197	244,770

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	332,073	243,878
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,474	11,815
持分法適用会社に対する持分相当額	872	△62
その他の包括利益合計	△8,602	11,753
四半期包括利益	323,470	255,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,595	256,523
少数株主に係る四半期包括利益	△7,124	△891

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コール センター	会 員	企業提携	加 盟 店	少額短期 保 険	自 動 車 賃 貸	計				
売上高											
外部顧客への売上高	529,655	1,900,315	2,483,080	162,831	336,365	139,961	5,552,208	2,717	5,554,926	—	5,554,926
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	84,125	221,430	—	215,170	174	520,900	—	520,900	△520,900	—
計	529,655	1,984,440	2,704,510	162,831	551,535	140,135	6,073,108	2,717	6,075,826	△520,900	5,554,926
セグメント利益又は損失(△)	200,800	327,220	309,734	△293,378	168,677	7,486	720,540	△98	720,441	△217,586	502,855

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シンプルセキュリティ事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△217,586千円には、セグメント間取引消去△41,967千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175,618千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コール センター	会 員	企業提携	加 盟 店	少額短期 保 険	自 動 車 賃 貸	計				
売上高											
外部顧客への売上高	486,536	1,725,542	2,358,697	125,832	673,976	169,280	5,539,866	1,366	5,541,233	—	5,541,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,017	—	—	180,144	2,788	187,950	—	187,950	△187,950	—
計	486,536	1,730,560	2,358,697	125,832	854,120	172,069	5,727,817	1,366	5,729,183	△187,950	5,541,233
セグメント利益又は損失(△)	120,630	499,157	139,439	△217,624	152,551	13,509	707,664	△210	707,453	△189,561	517,892

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シンプルセキュリティ事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△189,561千円には、セグメント間取引消去△4,080千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,481千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間において「その他」に含まれていた「自動車賃貸事業」については、前連結会計年度において量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。